

山形県立鶴岡工業高等学校

校舎 正門



校訓

「誠実勤労」 「質実剛健」

歴史と伝統をふまえ・・・めざす鶴工の姿
生徒一人ひとりが自ら学ぶ、行動する学校

校章



校章の由来（三羽の鶴）

創立以来の歴史を物語る鶴岡工業学校時代の校章である。
鶴岡の意と教育の目標として知育・徳育・体育の三つの総合完成を目指すことを意味し、
また、校歌に「三遷聖き教受く」とあることを含んでいる。
学制改革により高等学校として発足した時に制定したもので三羽の鶴が羽根を広げて
大空に飛立とうとする様は、本校の歴史と伝統を引き継ぎながら未来への発展を意味する
もので旧職員石栗長三郎先生の作である。

三 記せや大正春九年
籠児誕れしその晨
爛漫桜の香に薫れ
三遷聖き教受く
前途望は遠けれど
理想の真珠取らてやは

二 仰げば高き月の峰
汲のは深き梵字川
高き望に技磨き
潔き心に身を修む
我が学窓の輝きは
山と川とに映ひて

一 三百年を物語る
老杉蒼の曲高く
古城の畔巖かに
名のりぞ揚ぐる工業の
旗に朝旭の匂ふ時
瞻よ文明の国光を

校歌

作詞 土井曉昇
作曲 菅岡保蔵
同野貞一

沿革

明治28年12月28日
大正9年4月1日
昭和23年4月1日
平成13年4月1日
平成27年

鶴岡町立鶴岡染織学校創立
山形県立鶴岡工業学校開校（染織、電気機械、木材工芸の3科）
電気、電気通信、機械、建築、染織の5科
6学科（機械システム科、生産システム科、電気電子システム科、
情報通信システム科、建築システム科、環境システム科）各1学級設置
創立95周年